

輸 送 動 向 に つ い て (平 成 2 2 年 2 月)

平成 2 2 年 3 月

1 . 輸 送 概 況

今月は、上旬に新潟市で 26 年振りとなる 80cm を超える積雪を記録するなど、日本海縦貫線において 4 日間に亘り雪害による輸送障害が発生した。また、28 日には南米チリ沿岸の地震による津波に伴い各地で津波警報が発令されたため、北海道から東海地方にかけての各線区において運転規制が実施されたこともあり、月全体では高速貨 123 本、専貨 4 本が運休した。

荷動きについては、大雪による輸送障害の影響を受けたものの製造業各段階での生産の回復により、月全体を通して前年を大きく上回った。

コンテナ貨物は、農産品・青果物が唯一前年を下回ったものの、自動車部品、化学薬品、化学工業品などが前年を上回り、全体では前年比 109.9%となった。農産品・青果物は民間流通米及び北海道地区の野菜類が減送となった。一方、自動車部品は国内生産の回復に伴い大きく増送となった。また、化学薬品、化学工業品は輸出産業の回復に伴い大きく増送となった。

車扱貨物は、セメント・石灰石などが前年を下回ったものの、石油が前年を大きく上回り、全体では前年比 109.8%となった。セメント・石灰石及びその他品目となる化学薬品は、一部顧客の輸送中止及びコンテナ化により減送となった。一方、石油は、昨年気温が高めに推移したことに伴う需要減の反動により灯油が大きく増送となるなど、全ての油種が前年を上回った。

2 . 輸 送 実 績

(単 位 : 千 ト ン , %)

種 別 扱 別	月 計		前 年 比	年 度 累 計		前 年 比
	本 年 実 績	前 年 実 績		本 年 実 績	前 年 実 績	
コンテナ	1,626	1,479	109.9%	18,406	20,423	90.1%
車 扱	990	902	109.8%	9,666	9,947	97.2%

3 . 品 目 別 輸 送 実 績 表

(単 位 : 千 ト ン , %)

扱 別	品 目	本 年 実 績	前 年 実 績	増 減	前 年 比
コンテナ	農 産 品 ・ 青 果 物	150	171	- 21	87.7%
	化 学 工 業 品	151	130	21	116.2%
	化 学 薬 品	130	98	32	132.7%
	食 料 工 業 品	239	239	0	100.0%
	紙 ・ パ ル プ	244	230	14	106.1%
	他 工 業 品	134	104	30	128.8%
	積 合 せ 貨 物	171	168	3	101.8%
	自 動 車 部 品	73	37	36	197.3%
	家 電 ・ 情 報 機 器	33	30	3	110.0%
	工 コ 関 連 物 資	31	30	1	103.3%
	そ の 他	270	242	28	111.6%
	コ ン テ ナ 計	1,626	1,479	147	109.9%
車 扱	石 油	712	617	95	115.4%
	セ メ ン ト ・ 石 灰 石	98	101	- 3	97.0%
	車 両	97	88	9	110.3%
	そ の 他	84	97	- 13	86.6%
	車 扱 計	990	902	88	109.8%

(車 扱 の 品 目 別 輸 送 量 は 社 線 発 送 ト ン 数 も 含 む 数 値 、 本 年 は 速 報 値 、 前 年 は 確 報 値)